

Robotics Report

新たな常識のはじまり

中国「一带一路」経済圏構想で拡大する ロボティクス関連産業の需要

nikko am
fund academy



中国の広域経済圏構想「一带一路」により、中国と沿線国との投資や貿易が活性化しています。中でも、インフラ投資と並んで沿線国が期待しているのが、ロボティクス関連産業の発展です。

そこで、今回は沿線国のロボティクスに関連する取り組み状況を探ってみたいと思います。

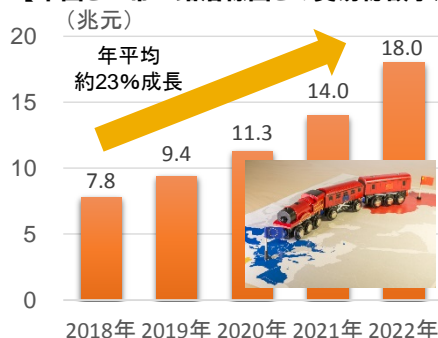
■ 中国、一带一路で21世紀のデジタル・シルクロードを目指す

習首席は、17年5月に開催された一带一路国際協力サミットフォーラムで、「一带一路はイノベーションの道であり、AI(人工知能)やビッグデータ、ロボットなどのハイテク分野で沿線国との協力を強化し、共に成長する21世紀のデジタル・シルクロードを目指す」と述べ、今後、ロボティクス分野での協業などを進めていくことを表明しました。

68以上の国・地域をカバーし、世界人口の65%、世界のGDPの40%を占めるといわれる「一带一路」経済圏では、17年に中国と沿線国との貿易総額が7.4兆元(約125兆円※)に達しており、構想自体が大きな経済効果をもたらすと期待されます。さらに、13~16年累計で600億米ドルであった中国企業による海外直接投資は、今後5年間で毎年1,200~1,300億米ドルに増え、その大半が沿線国向けになると予測されており、今後、沿線国との協業などが進んでいくとみられます。

※1元=17円

【中国と一带一路沿線国との貿易総額予測】

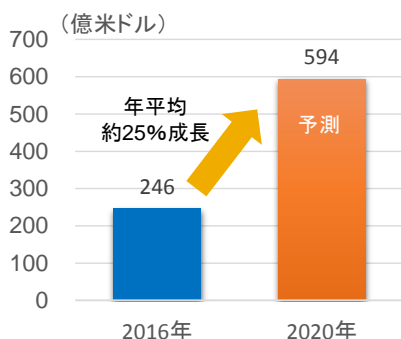


出所:中国・前瞻産業研究院の値を基に日興アセットマネジメントが作成 ※グラフ・データは予測値であり、将来を約束するものではありません。

■ 「中国製造2025」と一体化するハイテク政策

中国企業は、「一带一路」経済圏でのロボット市場に商機を見いだそうとしています。例えば、中国家電大手の美的集団は世界トップクラスの産業用ロボットメーカー・独KUKA社やイスラエルの動作制御システム企業・Servotronics社を買収し、中国ロボットメーカー大手のEFORTは自動車機器・ロボットのインテグレーター・伊W.F.C

【中国のロボティクス関連への支出予測】



出所:「Fast Growing China Spending on Robotics to Reach \$59.4 Billion in 2020, According to IDC」の値を基に日興アセットマネジメントが作成 ※グラフ・データは過去のものおよび予測であり、将来を約束するものではありません。

グループを買収しました。さらに、世界トップクラスのAIを用いた音声技術を持ち、「AI技術をもって一带一路に貢献していく」と宣言したiFlytek社のAI翻訳システムは、沿岸国との貿易や交流を行なう際に活用されています。

また、17年に北京で開催された世界ロボットカンファレンスでは、欧米の研究者らが「一带一路がグローバル規模でロボット産業の発展に寄与する」と述べており、中国だけでなく、欧州のロボットメーカーも「一带一路」構想を大きなビジネスチャンスと捉えているようです。

中国情報通信研究院と米調査会IDCは、「一带一路」と「中国製造2025」の政策が進むことで、20年の中国のロボット市場は594億米ドル(約6.5兆円※)にまで拡大すると予測しており、AIやIoT(モノのインターネット化)事業なども合わせると、「一带一路」経済圏におけるロボティクス関連産業の経済効果はさらに拡大すると期待されます。

※1米ドル=110円

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有、非保有、および将来の個別銘柄の組み入れまたは売却を示唆するものでもありません。

(当レポートは、株式会社ロボティアの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成しています。)

■当資料は、日興アセットマネジメントがロボティクスに関する情報についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。